

令和6年2月16日



裾野市マスコットキャラクター

東中生徒が国民文化祭で最高賞を受賞！

連句の祭典で文科大臣表彰受賞の東中生徒が市長表敬

第38回国民文化祭・連句の祭典ジュニア部門に出品した東中学校生徒の作品が、同部門最高賞である文部科学大臣賞を受賞したため、市長表敬訪問を行います。

第38回国民文化祭（いしかわ百万石文化祭2023）は、令和5年10月～11月に石川県を会場として開催されました。

受賞作は東中学校3年生5名によるものです。裾野宗祇法師の会により令和4年12月に実施された「中学校連句授業」の際に創作されたものを今回の国民文化祭にエントリーし、見事最高賞を受賞しました。

室町時代最高峰の連歌師（※）である「宗祇」の墓所は市内桃園の定輪寺にあり、市の指定文化財になっているなど、裾野市と連句の関係性は深いものがあります。

（※連句という言葉は近代になり定着したもので、それ以前は連歌と言っていたそうです）

と き／令和6年2月20日（火）16時30分～17時

ところ／裾野市役所4階 402会議室

参加者／市長、教育長、教育部長

東中学校生徒5名、東中学校教諭1名

問合せ／裾野市生涯学習課 文化係 志田

Tel 055-994-0145

担当

裾野市 教育部 生涯学習課

電話 055-994-0145

担当課長： 古谷伸導

担当者： 志田千麻